

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	10
会計	款	項
一般	10	3

政 策 5 子どもたちの生きる力を育むために

課名 学校教育課

施 策 5-1 幼児教育・学校教育の充実

係名

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各中学校の生徒	目的 (対象がどのような状態になっているか)	より良い環境で教育を受けることができる。
事業内容	中学校教育に必要な教材（消耗品・備品・教科書等）を購入する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						

		令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（予算）
全体事業費（千円）		6,962	7,886	14,444
財源 内訳	うち一般財源	6,962	7,886	14,444

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	タブレット端末の学校・家庭における有効な活用について、具体例を示し、町内すべての学校で同じ活用頻度になるよう支援する。	③取組の課題	中学校では、デジタル教材の活用頻度の向上は進まなかった。昨年度より教材の改善は行われたが、まだ授業で必要な問題の質と一致していないという課題が中学校から指摘された。
②R6年度に実施した取り組み	タブレット端末で使用する学習ドリルの使用、ICT支援員による活用方法研修の実施	④今後の改善計画	タブレット端末の学校・家庭における有効な活用について、具体例を示し、町内すべての学校で同じ活用頻度になるよう支援する。デジタル教材の改善予定である。